

授業科目 臨床実習 II

【担当教員名】 追手 巍、牧口 智夫		対象学年	4	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	180
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		◎	
【概要・一般目標：G10】 臨床技術者として臨床検査技師の行う業務等について現場の見学実習により、学内で学んだことを再認識すると同時に実際のな技術を習得する。またチーム医療における臨床技術者としての役割と、関連他職種との関わりについて理解する。					
【学習目標】 臨床検査部において生体検査、検体検査他を見学実習を通じて理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
	循環機能検査 呼吸機能検査 神経機能検査 感覚機能検査 画像検査 血液検査業務 病理検査業務（含む細胞検査） 一般検査業務 臨床化学検査業務 輸血・免疫検査業務				臨床実習 臨床実習 臨床実習 臨床実習 臨床実習 臨床実習 臨床実習 臨床実習 臨床実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		臨床実習マニュアルを配布する。			
【評価方法】 出欠、セミナー発表、レポート提出および臨床実習状況を総合的に評価する。			【履修上の留意点】 臨床実習は、先輩の臨床検査技師が医療の現場でどのように医療と関わっているかを知ることが第一目的であるから、真摯な態度で実習に取り組んで欲しい。		